



大 樹

岩田小学校たより No.8

令和2年7月15日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

先日は、「ゲーム、ユーチューブ等の通信機器を使用した遊び」について、御家庭から様々な御意見等を寄せていただき、ありがとうございました。集約した御意見及び今後の対応について、本号で御報告します。

各御家庭で、通信機器等の使用を工夫してくださっている一方、ゲームやユーチューブの長時間利用、オンラインゲーム上での気になる遊び方等、看過できない点もありました。学年が上がるにつれ、ゲームやユーチューブ等の付き合い方が難しくなっているようです。

情報社会の中、子ども自身が判断し、通信機器や情報とうまく付き合っていくことができるよう、今後、子ども・家庭・学校が一緒に考えていく必要性を感じています。

そこで、PTA 本部役員の方々に相談し、PTA 活動の一貫として、講師を招聘し、児童（上学年）対象講座と保護者対象講座の開催を計画しました。保護者対象講座の詳細については、本日配付する別紙文書をご覧ください。

講座：「ゲーム、メディアとじょうずに付き合うために」（仮）

講師： NPO 法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所

理事長 長澤 弘子 氏

静岡県教育委員会、市町教育委員会が主催する各地の講演会、PTA 講演会等で、子どもたちのよりよいメディア環境をつくっていくために、メディア環境に関する子どもや大人の学びを広く支援する活動を行っていらっしゃる方です。

児童対象講座（上学年児童を対象とし、夏休み前に実施予定）

日時 令和2年7月30日（木）5校時（13:10～）特別日課

対象 4・5・6年生

場所 体育館

保護者対象講座

日時 令和2年9月12日（土）10時25分から11時10分まで

土曜授業日（3時間授業 児童下校11:25）

対象 保護者（希望者）

場所 体育館

※当日、6年生児童、6年生保護者対象に修学旅行について事前説明会を9時15分から、音楽室にて行う予定です。本年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、目的地を東京都から他地域に変更します。そのため、旅程等の詳細について説明します。（詳細は、改めて6年生保護者にお知らせします。）

講座は、修学旅行説明会に引き続き、1年生～6年生保護者（希望者）を対象に実施します。別紙文書に申し込み用紙があります。御希望の方は提出してください。

ゲーム、ユーチューブ等の通信機器を使用した遊び
～お気付きのこと・心配なこと、御家庭で工夫されていること～ 集約結果

低学年

【約束等の工夫】

- ・時間を決めている。決められた時間使用すると、アラームが鳴るように設定。(親のスマホ)
- ・ユーチューブは、なるべく見せないようにしている。
- ・1日、30分使用。
- ・制限機能を付ける。タブレットを使用する際は、親に声を掛け、許可を得てから使用。
- ・ユーチューブの内容を親が確認している。(刺激的なものはやめる)
- ・休校中はパソコンで学習に取り組むことはあったが、必ず大人が傍について見守るようにした。
- ・テレビは、子どもたちが時間を決めた中で見たいものを選ぶようにしている。
- ・家庭学習が終わってから使用するようにしている。
- ・ロックを掛け、大人がいない場所では見るできないようにしている。

【心配なこと】

- ・どの程度遊ぶのが適当か分からない。
- ・ゲームをやり始めると集中してしまい、全く人の話を聞くことができない。(返事をしない)
- ・視力の低下、目への悪影響について。
- ・ユーチューブを見た日の次の日は、起きるのに時間がかかる。目や脳が疲れているのかも。
- ・時間を約束しているが、延びてしまう。
- ・戦うゲーム等、暴力的な言葉や行動への影響がないか心配。ゲームをやりたいために、家庭学習をただ終わらせているような状況。
- ・時間の管理が難しい。
- ・昔と違って外で子どもだけで遊ぶことが難しい(安全性)。どうしても家の中で遊ぶ→テレビ、ゲームになってしまう。

【その他】

- ・ゲーム、ユーチューブ等、使用していない。(ゲームを持っていない 複数)

中学年

【約束等の工夫】

- ・週に1～2回、ノーメディアデーを実施。(トランプをしたり、話をしたり、ゆっくり過ごす)
- ・オンラインゲームをやっているときは、必ず親のいるリビングでやるようにしている。
- ・ユーチューブは、1時間以内。ゲーム1時間。(複数)
- ・オンラインは、やらない。ユーチューブは、オンラインだが、検索以外はやらせない。
- ・見守り設定をして、ゲームをやる日と時間を家族で決めている。
- ・ゲームは、オンラインにしていない。ユーチューブは、親と一緒に見る。リビングで見る。
- ・21時に必ず寝るという習慣にしている。
- ・子どもが決めた目標を達成するまで、ゲーム機器・スマホは、塾の金庫で預かってもらっている。
- ・パスワードを設定。テレビ画面で見えるようにしている。時間になったら、切れるようにしている。
- ・土・日曜日は、学校や公園で遊ぶようにしている。

【心配なこと】

- ・知らない人とつながると怖い。オンラインでのトラブルが心配。
- ・ゲーム、スマホは、持っていない。ユーチューブも見えていないので、友達の話についていけなくなってしまうこと(友達の輪に入れない)が今の時代は怖い。家庭の経済状態が様々なので、ゲームやスマホを与えられる家庭ばかりではない。
- ・ゲーム、ユーチューブばかりで、外で遊ぶことが減ってしまった。
- ・平日でも、家庭学習をする前にゲームを始めてしまう。ゲーム機を取り上げても、見つけてやってしまう。
- ・休日も朝からゲーム、ユーチューブを見る。
- ・時間を決めても、言葉だけの注意は難しい。
- ・フォートナイトに夢中。家では、21時までと決めている。
相手に「下手くそ」「アイテムとらないで」と、強い口調で言っている。
- ・休校によって、メディアに関わる時間が多くなった。(複数)
- ・1日、1.5時間と決めていたが、休校によって守らなくなった。家庭学習を終え、夕食までの時間なら無制限とした。
- ・人を殺したり傷つけたり、物を壊すゲーム動画を見ることがあり、心配。
- ・携帯でのネット使用时、違うところを操作し、オンラインやネットは「見守りなし」では心配。
- ・ユーチューブは、興味をそそるように作られているので、時間を決めてみないと大変。
- ・「友達と・・・時からゲームをやる約束をしている。」と言い、みんながゲームをやめるまで、やめられないようなときがある。(複数)
- ・ユーチューブは楽しいので、ずっと見ている。「家庭学習が終わってから」「・・・時まで」とルールを決めないといけない。

【その他】

- ・これからの時代に生きていく子どもたちは、どうやってうまく付き合っていくか、自分でコントロールする力を身に付けてほしい。
- ・クラス、学校のみならず、弊害やネットのマナー等について学ぶ機会を設けていただけるとありがたい。

高学年

【約束等の工夫】

- ・パソコン、スマホ、ゲームは、一日30分。タイマーをセット。(複数)
- ・1日2時間。見守りアプリで、両親が管理。
- ・ゲームをネットにつなげるときは、大人がロックを解除する。
- ・時間制限機能を活用。
- ・オンライン設定はしない。
- ・ゲームは、リビングで使用。(複数)
- ・年齢制限のあるもの、内容に問題があるものは、やらせない。
- ・両親共働きのため、中学生の姉が監督。
- ・ユーチューブを見るときは、なるべく一緒に見て、長い時間にならないようにしている。
- ・ユーチューブを一緒に見ているとき、「この人、〇〇だから嫌い」と子どもに伝える。一緒に部屋にいて、言葉遣いや態度で気になったら注意する。
- ・ゲームは、20時まで。(21時まで)
- ・「勉強をやった時間=ゲームの時間」毎日、時間の設定をしている。ゲームを強制終了するように管理。

【心配】

- ・休校中からゲーム、ユーチューブの時間が増えた。(複数)
- ・友達が、チャットで喧嘩していると聞き、やめてほしいと思った。
- ・時間や条件を付けても、守ることができない。
- ・ユーチューバーの言葉遣いを真似する。
- ・自分の意志でやめることができない。
- ・汚い言葉遣いになった。
- ・学習への意欲がなくなった。
- ・オンラインゲームで言い合いをしていることが、多々ある。
- ・ゲームをしながら怒鳴ることがある。友達関係に影響しないか心配。
- ・友だちに対し、酷いことを言っていたので、子どもを叱ったことがある。理由を聞くと、言われたことに対し言い返したとのこと。「一旦抜ける」といって通信を切る方法もあること、次の日「今度は楽しくゲームしよう」と前向きな言葉を掛けるよう伝えた。
- ・「友達に酷いことを言ってしまった。」と言っていたことがある。
- ・ゲーム依存の怖さを話しているが、子どもはまだ理解できない様子。
- ・視力や姿勢が悪くなる。
- ・オンラインゲームの中に、下級生もいるので心配。
- ・ゲームはレベルが合わないと遊んでもらえないので、同じ環境をつくるしかない。

【その他】

- ・ゲームは、持っていない。ユーチューブを見る環境をつくっていない。(複数) 家族で話したり、カード(ボード)ゲームで遊んだりして楽しく過ごしている。親も、メディアに触れるときは、子どもが寝てから触れるようにしている。
- ・最近ゲームができるようになった弟と、共通のゲームを通して会話が増えた。
- ・ユーチューブだけでなく、ニュースを見ることも必要。
- ・子どもだけでなく、親が勉強して、インターネット等の怖さを知っておいた方がよい。
- ・ゲームでコミュニケーションをとって楽しく遊んでいる姿を見ると、完全にダメとは言えない。